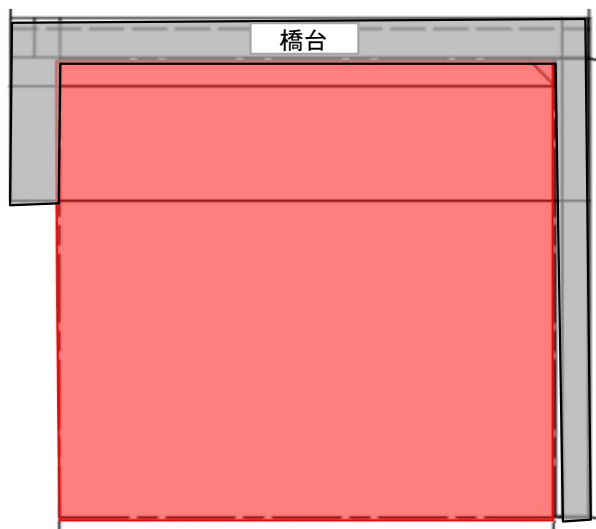


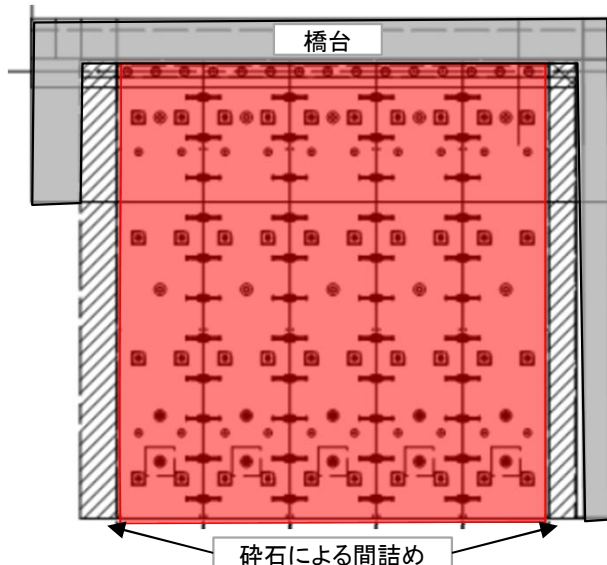
- 本技術は従来、場所打ちコンクリート構造で施工していた踏掛版をプレキャスト化することで、現場の省力化・工期短縮が図られるため施工性が向上する。
- また、撤去再設置が容易であるため再度被災時の復旧が容易である。

- 工事名: R6 能越道輪島道路舗装復旧工事
- 活用企業: 株式会社 ガイアート(施工)、株式会社 ホクエツ北陸金沢工場(製造)
- 開発企業: 株式会社 ガイアート (NETIS番号 CB-020006-V)

当初計画(現場打ち踏掛版)



変更計画(プレキャスト踏掛版)



■プレキャスト踏掛版の効果

- ・省人化、工期短縮が可能となり、早期の復旧・復興に寄与する
- ・再度災害を受けた際に容易に復旧することが出来る

■プレキャスト踏掛版の課題

- ・従来工法(現場打ち)に比べコスト高

施工状況



施工完了後

